自己点検チェック・代理店手数料・比較推奨に関する代理店の意識と提言

自己点検チェック取組みの趣旨・目的を納得している専業53.8%、乗合43.9%

2026年度実施　大阪代協

全会員アンケートを通じて見えてきた「会員の思い」(上)

大阪代協（隼田智貴会長）は、全会員を対象に「全会員アンケートを通じて見えてきた『会員の思い』―自己点検チェック・代理店手数料・比較推奨に関する代理店の意識と提言―」調査（回答：516名）を行い、10月１日にその結果を公表した。同アンケートでは一人ひとりの忌憚のない「代理店の声」も取り上げている。今回はその中から、「自己点検」に関する質問から得た回答（一部抜粋）を紹介する。（「代理店手数料」「比較推奨」も掲載予定）。

なお、詳細は（https://www.osakadaikyo.or.jp/info/25452）。

提出期限は適当が半数超

社員の上から目線感じる多く

■自己点検

1. 保険会社から、自己点検チェックに取り組む趣旨・目的について説明または連絡は？

最も多かったのは、専属は「自社内で説明を受けた」が40・9％である一方、乗合は「口頭で説明を受けた」が45・2％となった。

2. 自己点検チェックに取り組む趣旨・目的について理解・納得は？

専属では、53・8％が「納得できた」、37・1％が「理解はできるが、納得まではいかない」となった。これに対して、乗合の43・9％が「納得できた」、50・4％が「理解はできるが、納得までいかない」と回答しており、乗合のほうが納得感はないようだ。しかし、専属は「なぜ必要なのか理解できない」５・９％（乗合は１・７％）と理解以前の問題として捉えている代理店の割合が高いことがうかがえる＝図１-１、２。

3. 保険会社による、年度末までの「対話」「フィードバック」を含む今後のスケジュールの連絡・説明については？

「連絡または説明があり理解できた」との回答は専属が42％、乗合が50・４％となった。

4. 自己点検チェックシートの保険会社による作成指示から提出期限までの期間については？

「適当な期間である」と回答したのは専属52・１％、乗合56・１％となり大差はなかった。また、「短すぎる」についても専属23・１％、乗合25・２％と同様の結果となった＝図２。

5. 自己点検チェックシートを作成するにあたり、保険会社から提供されたサポートツールについては？

専属は「わかりやすく作成の役に立った」（14・３％）、「少し参考になった」（38・３％）と約５割を占めたが、専属のほうが好意的に捉えているようだ＝図３。乗合も「わかりやすく作成の役に立った」（９・６％）、「少し参考になった」（34・３％）と約５割は役立ったと回答

6. 自己点検チェックの取組みを進めるにあたって、保険会社社員の理解度や姿勢については？

専属は「取組みを理解して同じ目線で取り組んでいる」（31・１％）、「取組みを理解しているが上から目線を感じる」（30・４％）が同程度なのに対し、乗合は「取組みは理解しているが上から目線」（44・８％）、との見方が強い＝図４。

図１－１．自己点検チェックに取り組む趣旨・目的について理解・納得できたか（専属）

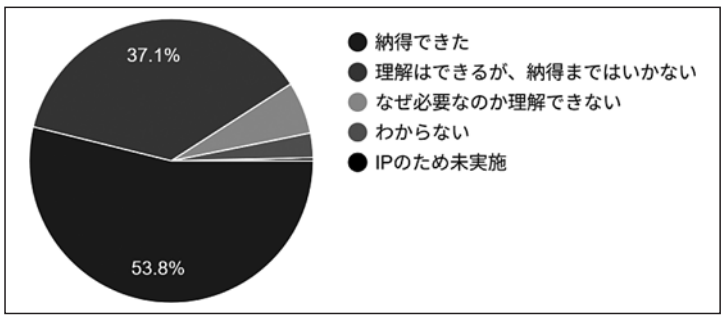


図１－２．自己点検チェックに取り組む趣旨・目的について理解・納得できたか（乗合）

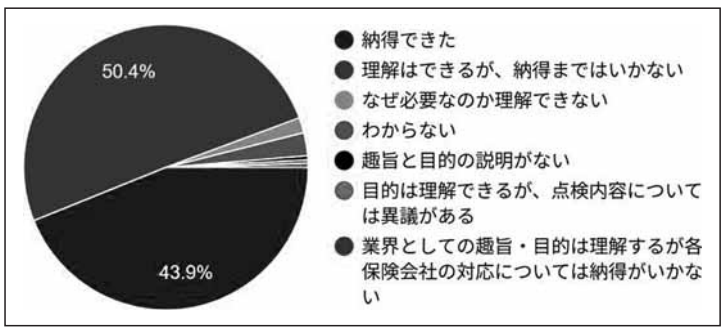


図２．自己点検チェックシートの保険会社による作成指示から提出期限までの期間について（乗合）

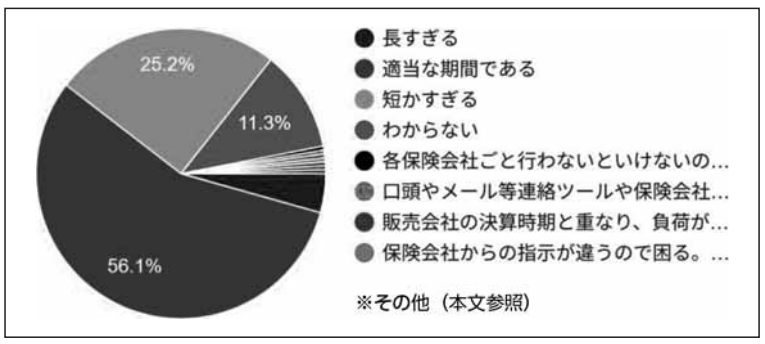


図３．自己点検チェックシートを作成するにあたり、保険会社から提供されるサポートツールについて（専属）

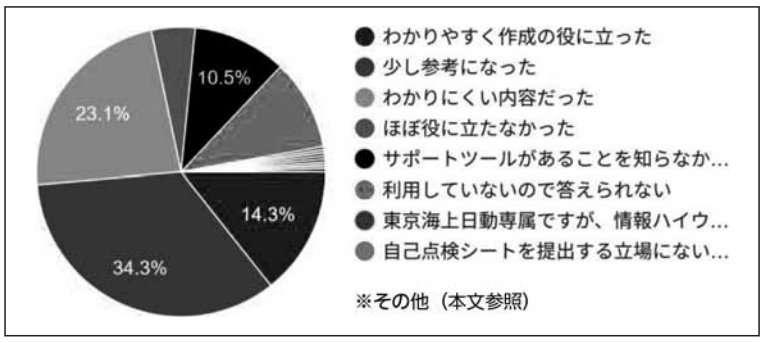
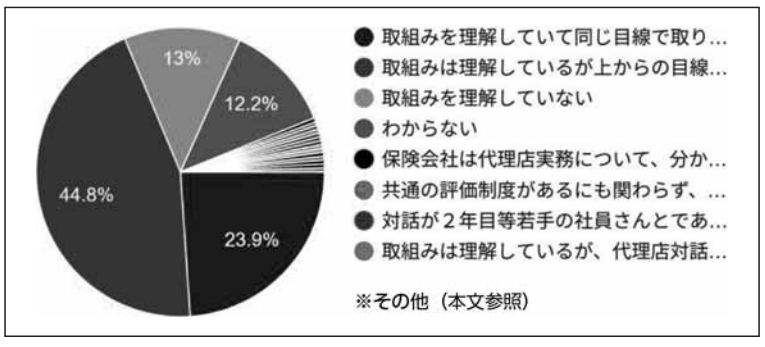


図４．自己点検チェックの取組みを進めるにあたって、保険会社社員の理解度や姿勢について（乗合）



新日本保険新聞
（損保版）
第１～４月曜日発行
発行所　新日本保険新聞社
大阪市西区靱本町１丁目５－15
（郵便番号550-0004）
電話　(06) 6225－0550（代表）
FAX　(06) 6225－0551（専用）
購読料　１か月2420円
（消費税、送料込み）
©新日本保険新聞社 2026

79th Anniversary since1947
創業昭和22年
保険・共済業界と共に歩んで79年